
片想い(200文字)

coach

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

片想い（200文字）

【コード】

N6061P

【作者名】

coach

【あらすじ】

片想い相手の彼が言った言葉は

夕暮れの帰り道、彼の一言は時を止めた。

不意に温かくなつた心に浅ましさを感じ、わたしはドキリとする。

あの子になりたかつた。

綺麗な髪、大きな瞳、そして彼。

わたしにないものを全て持っているあの子。

前をまっすぐ見て歩く彼をそつと見上げながら、あの子じゃなくて良かったと初めて思う。

でも、あの子じゃないわたしはどうすればいいんだろう。

隣を歩く肩にかける言葉一つさえ見つからなくて、わたしには始まりさえ覚束ない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6061p/>

片想い（200文字）

2010年12月31日07時32分発行